

東寺文書と中世の諸相

▶ A5判・630頁／定価 11,550円 (税5%込)

ISBN978-4-7842-1578-2

日本の古文書を代表する史料群であり、中世の基本史料である東寺文書。そのうち東寺百合文書は1997年に国宝指定を受けている。本書は、東寺文書に魅せられた中世史研究者により、1994年以降続けられた東寺文書研究会での研究成果の第二弾。研究会の報告を基礎に最新の成果を披露した19篇。

内容目次

<p>東寺の僧侶、その職位とはたらき</p> <p>永久元年の真言宗阿闍梨と東寺定額僧 年行事と案文——中世前期東寺における文書管理——宮崎 肇 (早稲田大学非常勤講師) 公文快実とその文書 岡本 隆明 (京都府立総合資料館)</p>	<p>荘園、そして荘園史料からの発展</p> <p>土地範疇と地頭領主権 地下請小考 志賀 節子 (関西大学非常勤講師)</p> <p>東寺領近江三村庄とその代官 村井 祐樹 (東京大学史料編纂所助教)</p> <p>周防国美和荘兼行方の年貢収取について 高橋 傑 (慶應義塾普通部教授)</p> <p>新見荘祐清殺害事件の真相 清水 克行 (明治大学准教授)</p> <p>備中国新見荘における代官新見国経期の公用京進と商人の活動 辰田 芳雄 (岡山県立岡山朝日高校教諭)</p>	<p>室町期東寺の寺院運営に関わる夫役と膝下所領 西尾 知己 (日本学術振興会特別研究員)</p> <p>中世後期における村の惣中と庄屋・政所 西谷 正浩 (福岡大学教授)</p> <p>葛野大堰と今井用水——地域史への試み—— 大山 喬平 (京都大学名誉教授)</p>	<p>権力の裁許、政治勢力の地域的展開</p> <p>六波羅探題における「内問答」と「言口法師」 酒井 紀美 (茨城大学教授)</p> <p>観応の擾乱以降の下文施行システム ——尊氏・義詮下文施行状を中心として—— 龜田 俊和 (京都大学非常勤講師ほか)</p> <p>室町期越中国・備前国の荘郷と領主 山田 徹 (京都大学助教)</p> <p>戦国期西播磨における地域権力の展開 ——龍野赤松氏の動向を中心に—— 渡邊 大門 (大阪観光大学客員研究員)</p>	<p>史料の性格の読解</p> <p>東寺宝蔵の文書の伝来と現状 ——御道具唐櫃の文書を中心に—— 新見 康子 (東寺宝物館)</p> <p>「東寺長者補任」の類型とその性格 高橋 敏子 (東京大学史料編纂所准教授)</p> <p>「延文四年記」記主考 山家 浩樹 (東京大学史料編纂所教授)</p>
---	---	---	--	--

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 【2011年6月27日より左記に移転】 tel. 075-751-1781 fax. 075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	東寺文書と中世の諸相 本体11,000円 (税別)		ISBN978-4-7842-1578-2	
お名前	tel				
	e-mail				
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい)				
	<input type="checkbox"/> 代 引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い下さい)				
					書店番線印

東寺百合文書 【既刊8冊】

京都府立総合資料館編

東寺百合文書とは、東寺に襲蔵されてきた奈良時代から江戸時代初期まで約900年にわたる、総数18,000点・27,000通におよぶ日本最大の古文書群である(平成9年国宝に指定)。本史料集には「ひらかな部」刊行中の『大日本古文書』未収録の「カタカナ部」を翻刻。

- ▶A5判・
- | | | |
|--------------------|---------------|-----------------------|
| 第1巻(イ函・ロ函一) | 490頁／定価9,975円 | ISBN4-7842-1182-9 |
| 第2巻(ロ函二) | 446頁／定価9,975円 | ISBN4-7842-1224-8 |
| 第3巻(ロ函三) | 444頁／定価9,975円 | ISBN4-7842-1266-3 |
| 第4巻(ロ函四・ハ函一) | 454頁／定価9,975円 | ISBN4-7842-1319-8 |
| 第5巻(ハ函二) | 454頁／定価9,975円 | ISBN978-4-7842-1364-1 |
| 第6巻(ハ函三・ニ函一) | 432頁／定価9,975円 | ISBN978-4-7842-1435-8 |
| 第7巻(ニ函二) | 450頁／定価9,975円 | ISBN978-4-7842-1480-8 |
| 第8巻(ニ函三、ホ函、ハ函、ト函一) | 442頁／定価9,975円 | ISBN978-4-7842-1532-4 |

※最終全60巻の予定 各巻予定価格：各9,975円【年1回刊行】

禁裏・公家文庫研究 【既刊3冊】

田島公編

本書は、勅封のため全容が不明であった東山御文庫本など近世の禁裏文庫収蔵の写本や、交流がある公家の文庫収蔵本に関する論考・データベース・史料紹介を収録し、近世の禁裏文庫本を古典籍研究に役立つようとするものである。

- ▶(一・二)B5判・各390頁／各定価10,290円 ISBN4-7842-1143-8・-1293-0
(三) B5判・496頁／定価12,390円 ISBN978-4-7842-1414-3

南都寺院文書の世界

勝山清次編

東大寺宝珠院(法華堂文書・宝珠院文書)と興福寺一乗院坊官二条家(一乗院文書・一乗院御用日記)に伝来した文書の3年間に渡る調査・研究の成果をまとめた一書。南都寺院の寺領やネットワークに関する研究をこれらの史料をもとに展開する。論考8篇と史料翻刻3篇収録。

- ▶A5判・350頁／定価6,090円 ISBN978-4-7842-1369-6

風俗絵画の文化学 都市をうつすメディア

松本郁代・出光佐千子編

中近世における風俗絵画のメディア性に着目。描かれなくなったものを持つ意味や享受者の視点、都の社会における聖と俗の姿、風俗絵画に表された芝居空間や行事のかたちや年代とともにどのように姿を変えたのか、など様々な視点からアプローチ。歴史学・美術史学・文学・宗教史学などの多岐にわたる分野の13篇。

- ▶A5判・368頁／定価6,825円 ISBN978-4-7842-1469-3

中世史料学叢論

藤本孝一著

京都文化博物館を経て文化庁主任文化財調査官を務め、永年史料学の現場で調査・研究に携わってきた著者の研究成果。古文書学を中心にしながら、平安時代の政治・社会・文化から、中世・近世の史料考証におよぶ論考には、著者の豊かな学識と経験に裏打ちされた学問世界が広がる。

- ▶A5判・444頁／定価9,450円 ISBN978-4-7842-1455-6

増補・改訂 南北朝期公武関係史の研究

森茂暁著

南北朝期の公家政局の構造、および朝廷と幕府との関係を、豊富な史料をあげて実証的に読み解き、その後の中世政治史の発展を決定づけた、1984年文献出版刊行の名著を増補・改訂して復刊。増補にあたっては、32頁に及ぶ新補注を付し、旧版刊行後に見いだされた基礎データ等を収録。

- ▶A5判・612頁／定価9,450円 ISBN978-4-7842-1416-7

***東寺・東寺文書の研究**

上島有著

第21回角川源義賞受賞

近世文書や聖教類も含めた東寺文書の整理の歴史を、東寺と東寺文書の研究に永年携わってきた著者が、寺史や伝来とも関わらせて集大成。【内容】東寺の歴史/東寺文書の伝来と現状/東寺百合文書の整理と目録作成/東寺文書をめぐって

- ▶A5判・872頁／定価17,850円 ISBN4-7842-0979-4

戦国大名武田氏の権力構造

丸島和洋著

戦国大名はどのような伝達ルートを通じて家中の内外との意思の疎通を行ったのか? 甲斐武田氏を分析対象とし、家中を代表して他大名との外交を担った「取次」に着目。領国支配における意思伝達経路の検討とあわせて、大名権力の中枢を構成する家臣や、大名と家臣の関係について見つめ直し、戦国大名の権力構造を明らかにする。

- ▶A5判・436頁／定価8,925円 ISBN978-4-7842-1553-9

京都の都市共同体と権力

思文閣史学叢書

仁木宏著

中世京都の都市構造モデルを前提に、その変容のなかから町(ちょう)の成立を読み解く。自力救済社会における武家と都市民の対峙が、やがて公儀を創出し、都市共同体を確立させることを明らかにする。中近世移行期における自治、共同体、権力の葛藤を正面から見すえ、都市の本質を具体的に、理論的に分析した一書。

- ▶A5判・332頁／定価6,615円 ISBN978-4-7842-1518-8

中世京都の空間構造と礼節体系

桃崎有一郎著

貴人と牛車ですれ違う場合の正しい作法は? 参内するときはどこで牛車を降りればよいのか? 中世の京都で実践された礼節体系の考察を通じて、中世京都の空間構造を明らかにし、室町殿権力の形成・展開過程をも論ずる。【内容】中世公家社会における路頭礼秩序/中世武家社会の路頭礼・乗物と公武の身分秩序 ほか

- ▶A5判・584頁／定価7,560円 ISBN978-4-7842-1502-7

室町・戦国期研究を読みなおす

中世後期研究会編

踏まえる、拓く——若手研究者が提示する研究の過去・現在・未来
【執筆】松永和浩/桃崎有一郎/山田徹/吉田賢司/平出真宣/尾下成敏/西島太郎/清水克行/三枝暁子/早島大祐/高谷知佳/大田壮一郎/安藤弥

- ▶A5判・408頁／定価4,830円 ISBN978-4-7842-1371-9

京都文化の伝播と地域社会 思文閣史学叢書

源城政好著

京都とその近郊の中世文化史に取り組んできた著者が、今までの成果をまとめた一書。在地(荘園)をめぐる動向、公武の文芸交流と伝播、さらに河原者・声聞師の被差別民衆の諸相と室町・戦国期の人物論を収めた。【内容】地域社会の躍動/公武の文芸交流/被差別民衆の諸相/乱世を生きた人々

- ▶A5判・400頁／定価8,190円 ISBN978-4-7842-1325-2

鎌倉時代の権力と制度

上横手雅敬編

鎌倉時代史をリードしてきた編者と、次世代を担う関西の若手研究者により結成された鎌倉時代研究会の初の論集。「公家政権」「鎌倉幕府」「宗教と寺社」の3篇からなり、各分野のスペシャリストたちがそれぞれの視点から最新の研究成果を披露する。

- ▶A5判・358頁／定価6,825円 ISBN978-4-7842-1432-7

中世日本の政治と文化

思文閣史学叢書

森茂暁著

鎌倉時代から室町時代にかけて、現存している古文書や、政治と深く関わった宗教者から、「中世日本」とはどのような時代だったのかをひもとく、さらに『増鏡』や『太平記』、『博多日記』という記録史料など、文芸作品からのアプローチをも試みる。中世の政治と文化を総合的に明らかにした論考15篇を収録。

- ▶A5判・480頁／定価9,450円 ISBN978-4-7842-1324-4

東寺宝物の成立過程の研究

新見康子著

南北朝時代の寺誌である『東宝記』や東寺百合文書にみられる宝物目録などの豊富な史料をもとに東寺に残る文化財の伝来過程を具体的に体系化した一書。今後の文化財の活用や保存を前提に本来の保管形態を復元し、伝来を確定して位置付けをしなおす。

- ▶A5判・638頁／定価12,600円 ISBN978-4-7842-1368-9

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。